

小平・村山・大和衛生組合新ごみ焼却施設の整備に係る懇談会 ご意見ご要望一覧（第1回～第8回）

No.	ご意見・ご要望	回	対応	基本計画(素案) 該当ページ、項目
1	<p>基本計画全体について、見る人（読む人）を意識して、丁寧に書き込む必要がある。</p> <p>基本方針の何を反映して考慮したのかを明記した方が良い。特に、懇談会などの意見を踏まえて基本計画（案）を作ったことを明記する。</p> <p>プラントメーカーに対しても、自身の得意分野を積極的に提案してもらえそうな項目を追加する。</p>	6	<p>市民の読みやすさに配慮し、基本計画（素案）9月改訂版を作成しました。整備方針は、懇談会の意見全体に配慮し、修正を行っています。また、背景と目的の項目に、懇談会の意見を踏まえ取りまとめたことを記載しました。</p> <p>プラントメーカーの提案については、ノウハウを生かしたアイデアを引き出せるように配慮し、要求水準書を作成します。</p>	P 1 背景と目的
2	<p>玉川上水の遊歩道から見える側の建物のデザインはよくしたほうがよい。</p>	2	<p>施設建物のデザインや色彩は、玉川上水や野火止用水の歴史的な景観や武蔵野の面影を残す雑木林などの調和に配慮して計画します。</p>	P 2 整備方針 P 44 建築デザイン計画
3	<p>不燃・粗大ごみ処理施設もあるため、「信頼されるごみ焼却施設」ではなく、「信頼されるごみ処理施設」の方が、わかりやすい。</p>	3	<p>目指すべき施設の姿として、「周辺環境と調和し、地域に親しまれ、市民から信頼されるごみ処理施設」としました。</p>	P 2 整備方針
4	<p>市民に親しまれる施設としたときに、地域防災は親しまれるかがわかりにくいので「市民に親しまれ、平常時・災害時に市民に貢献できる施設」など併記してもよいのではないかと。</p>	3	<p>整備方針を「市民に親しまれ、地域に貢献できる施設」としました。</p>	P 2 整備方針
5	<p>避難場所は、上宿小学校だが、中島町の住民が避難するのは難しい。水にしても、線路の向こう側に貯水場あって、震災時は、無料で水を供給するが、線路を</p>	3	<p>上水については、施設内に設けるタンクを災害時に利用できるよう検討します。なお、地域防災への貢献として考えられる項目を表2-13に示します。これらの項目について、小平市の各種防災に関する計画等と整合を図りながら検討することとします。</p>	P 2 整備方針 P 21-22 災害発生時の対応

No.	ご意見・ご要望	回	対応	基本計画(素案) 該当ページ、項目
	わたるの難しいので、ここでそのような設備があるとよい。			
6	工事期間中のごみ処理について、他市・他組合への支援委託量の最少化は非常に重要な項目であるため、明記する。	6	支援量の最少化については、整備方針に「工事期間中のごみ処理支援量の削減」を記載しています。	P 2 整備方針
7	屋上緑化について、ただ植物を植えるだけでなく、植物の学習や環境学習に使えるように、専用のコンサルを入れるなどして提案することを明記する。見えないところに並べてもよくない。	5	屋上緑化の方法等については、プラントメーカーに加えてコンサルタントなど専門業者のノウハウを生かした提案ができるよう、要求水準書に規定します。	要求水準書で対応
8	雨水を貯留して活用する。	8	敷地への降雨水は、既存の公共枿を介して、公共下水道へ排水します。 ただし、公共下水道の許容雨水量以上の雨水は、浸透及び必要に応じて一時貯留します。また、屋根への降雨水は極力再利用します。	P 8 ユーティリティ
9	施設規模の算出にあたり、余裕を持った施設規模にしてほしい。	2		
10	過大な規模とならず、平常時において安定的な操業が確保できる規模とすることについて、方向性を明記する。	8	施設規模は、3市のごみ減量施策や災害廃棄物の処理を勘案し、過大な規模とならず、平常時においても安定的な操業が確保できるように設定しました。	P 9-14 施設規模
11	施設規模に関して、人口推計のデータなど実際に数値が入ったわかりやすい資料を用意してほしい。その際、災害廃棄物処理量について、最近の工場では、どのくらいの量を設定して、稼	2	3市の将来人口予測、ごみ排出量及びごみ焼却量の予測結果と、施設規模の設定方法について記載しました。 また、災害廃棄物量の設定に関して、他市の事例を記載しました。 災害廃棄物の割合は、平常時の10%に設定しました。	P 9-14 施設規模の設定

No.	ご意見・ご要望	回	対応	基本計画(素案) 該当ページ、項目
	働後はどのくらい余裕があるかわかるようなデータがあれば用意してほしい。			
12	不燃残渣を焼却することについては、排ガスの数値を公表していかなければならない。そこで現在多摩地域で導入しているところでは、どのような方法で住民に公表しているかを確認し、今後どのように住民に公表していくか検討してほしい。	2	排ガスに含まれる有害物質については、測定を行い多摩地域の他施設の状況を参考に、公表方法を検討します。 排ガスに含まれる重金属類は、他施設の状況を踏まえて必要な項目を検討し、測定します。	要求水準書で対応
13	重金属類も測定する。	6		
14	排ガス状況表示盤について、環境基準と現在値をわかりやすく表示。	4		
15	排ガス状況表示盤について、スマートフォン、ホームページで確認できるといい。地域の天気予報なども一緒に表示すれば見やすい。	4	排ガスの自主基準値と測定値は、敷地外から見やすい場所に表示盤を設置し、公表するとともに、ホームページや広報「えんとつ」を通じて市民に提供します。 天気予報の提供は、組合のデータではないので、今後の検討課題とさせていただきます。 情報の提供にあたっては、市民の分かりやすさに配慮し、丁寧な説明に努めます。	P 16-18 排ガス P 23 情報の公開及び地域要望等への対応
16	情報の公開について積極的に公開し発信していく施設であるとアピールする。	4		
17	公表するデータがどういう意味を指すのか、丁寧に説明する。	4		
18	大きなタンクを災害用に設置する。	3	上水については、施設内に設けるタンクを災害時に利用できるよう検討します。 また、飲料用以外では、井戸及びプラント運転用タンクの使用が可能です。	P 22 地域防災への貢献
19	MCA無線を使用して、災害時の情報発信基地としての機能を持たせるなど、行政と連携した対応を。	4	排ガス状況表示盤を各種情報発信可能なものとし、テレビ放送やMCA無線を通じて行政と連携し、取得した災害情報等を表示します。	P 22 地域防災への貢献 P 40 その他設備

No.	ご意見・ご要望	回	対応	基本計画(素案) 該当ページ、項目
20	駐車場近くまで温水配管を伸ばしておいて、災害時に風呂や仮設トイレを設置できるように。災害時だけでなく、イベントで使うこともできる。	4	本施設敷地内で温水や井戸水が使用できるように、施設に配管を設けます。この配管を利用して、災害時に入浴、シャワー、トイレが利用できるようにします。	P 22 地域防災への貢献
21	Wi-Fi アクセスポイントを設置する。(大人数向けの容量確保)	4	Wi-Fi アクセスポイントを設置いたします。また、必要な容量が確保できるよう要求水準書に規定します。	P 22 地域防災への貢献
22	防災、地域貢献計画をもっと充実させる。	5	<p>地域防災への貢献として考えられる項目を表2-13に示しました。これらの内容については、小平市の各種防災に関する計画等と整合を図りながら検討することとします。</p> <p>大地震等の災害発生時に一時的に避難者の受入を行い本施設内の会議室や見学者施設の開放、本施設内設備を利用した風呂、シャワー及びトイレの利用並びに水・温水、電気及び情報の提供等を計画します。</p>	<p>P 22 地域防災への貢献</p> <p>P 43 建築平面・断面計画</p> <p>P 47 環境啓発機能(プラザ機能)の検討</p>
23	地域防災貢献計画、災害廃棄物処分対応、環境啓発機能計画について、より充実した内容で明記する。	8		
24	災害防災拠点として活用できることをもっとアピールする。	6		
25	災害時など地域防災に貢献できるような施策を実施する。	8		
26	震災時の避難場所として確保してほしい。	7		
27	大会議室は解放して地域に還元する、災害時にはトイレ、更衣室、洗濯場、風呂もしくはシャワールームなどを提供することを書いておいて、プラントメーカーに意図が伝わるように。使い勝手の悪い施設にならないように。	5		
28	煙突に防災カメラを付ける。環境学習にも使える。	8		
29	防災カメラを、ライブカメラとして見られるようにできないか。	6		
30	防災カメラを、テレビ局と契	8		

No.	ご意見・ご要望	回	対応	基本計画(素案) 該当ページ、項目
	約して、お天気カメラのように使えないか。			
31	防災カメラの設置ができるように、配線だけは先にしておいた方が良い。	8		
32	大きなコンセプトとして、積極的な情報公開という言葉を目記する。	8	整備期間中は、工事の進捗状況や環境調査の結果などを公表します。また、施設の操業状況については、排ガス状況表示盤を道路から見やすい位置に設置し、自主基準値及び測定値を表示します。あわせて、施設の維持管理状況等について、ホームページや広報「えんとつ」に分かり易く掲載するなど、積極的に情報を提供します。	P 23 情報公開及び地域要望等への対応
33	えんとつフェスティバルの継続。	5	工事期間中のえんとつフェスティバルの開催については、連絡協議会と組合で検討します。えんとつフェスティバルは、工事状況等により、休止又は縮小することはありえますが、工事期間中も引き続き開催できるように努めます。	P 23 情報公開及び地域要望等への対応
34	こもれびの足湯を運営しながら工事を進めてもらいたい。	2		
35	足湯について既存の施設を存続させるのか、いったん解体し新設するのか明確にする。	5	こもれびの足湯は工事状況等により、休止または縮小することはありえますが、工事期間中も稼働できるように努めます。	P 23 情報公開及び地域要望等への対応
36	こもれびの足湯に引き続き温水を供給することを目記する。	8	こもれびの足湯は、施設更新後も、引き続き温水を供給し、運営します。	P 34 余熱利用設備
37	見学者がいないときには、会議室などを市民に貸し出すことはできないか。そのイベント情報も、排ガスデータと一緒に発信すれば開かれているなど感じる。	4	ご要望に応じて、会議室や展示スペースの貸し出しが可能となるように検討し、地域の交流の場となるように努めます。	P 23 地域との交流
38	大きなイベント時（オリンピックやスポーツ観戦など）には会議室のスクリーンをパブリックビューイングのように使	4		

No.	ご意見・ご要望	回	対応	基本計画(素案) 該当ページ、項目
	えないか。			
39	ダンピングボックスについて、その場で搬入物調査ができるようにする。	8	ご意見のとおり、要求水準書に規定します。	要求水準書で対応
40	排ガス処理について、水銀の項目追加。	8	「(4)水銀除去方式の検討」を追加しました。	P 33 排ガス処理設備
41	発電した電力について、場内使用することと、余剰電力は電力会社に売却することを明記する。	8	発電電力は、焼却施設、不燃・粗大ごみ処理施設及び「こもればの足湯」の全ての電力をまかなうとともに、余剰電力を電力会社に売却することを記載しました。	P 34 余熱利用設備
42	煙突高さや環境影響の問題は、高い、低いでどのような問題があるか比較表を作成してほしい。	2	煙突の高さが59.5mと100mの場合について、自主基準値の濃度の物質が煙突から排出されるとして大気拡散計算を行い、環境影響を比較しました。	P 35 煙突設備
43	収集車両のシャワー洗浄施設は必要無いのでは。	4	車両が汚れた場合を想定して、洗浄を可能とするよう計画します。	P 40 その他設備
44	タイヤの洗浄設備は不要だが、緊急用に車両全体を洗浄できる専用の場所（荷卸し場以外で）を設置する。	4		
45	ピットに溜まる汚水について、自動で洗浄できるように。	4	現在は設置を考えておりませんが、他市の事例等で良い設備があれば取り入れたいと思います。	
46	現在施設を管理している作業員が持っているノウハウやアイデアを設計に活かせるように。	4	維持管理部門の意見を集約し、設計に活かします。	
47	建築についても、プラントメーカーに専門業者を入れて設計・施行する必要があるというメッセージを出すために、建築についても懇談会で出た意見を明記する。	8	いただいた意見を取りまとめ、第4章 第2節 土木建築計画の項に記載しました。	P 41-46 土木建築計画
48	施設の配置について、動線計画を立てて、後で不便にならないようによく確認して計画する。	2		

No.	ご意見・ご要望	回	対応	基本計画(素案) 該当ページ、項目
49	煙突の高さ、設置場所は、地震などで折れても周辺住民に影響がないようにしてほしい。	2	建物・煙突については、できる限り敷地中央に配置するとともに、震度6から震度7程度のきわめて稀にしか発生しない大規模地震に対しても、人命に危害を及ぼすような倒壊等の被害は生じないことを目標として設計・建設します。	P 41-46 土木建築計画
50	管理棟は焼却炉に寄せて建設し、空いた場所を地域還元などで有効利用してほしい。	2	極力スペースを有効利用できる配置とします。 いただいた意見は、要求水準書に規定します。	P 41-46 土木建築計画
51	次の施設を建て替える30年後も考えて配置を検討する。	2		
52	将来の更新を考えて、工場棟を敷地の端に作れないか。	7		
53	管理棟を別に作るのではなく、ごみ焼却施設に増築することも含めて提案を受けられるように。	5	管理棟の配置については、図4-1全体配置図を基本としますが、搬入・搬出車両動線、来場者動線及びイベント広場等の配置を踏まえたうえで、工場棟と一体化することについても引き続き検討します。管理棟は、施設に増築する提案を妨げないように、要求水準書を規定します。	P 41-46 土木建築計画
54	小平市道第A-3号線から小平市道第A-1号線に入るときに、見通しが悪いため、改善が必要である。	2	敷地の東北部角、小平市道第A-1号線と小平市道第A-3号線の交差点については、門・塀に意匠を施し、見通しを改善します。	P 41 配置計画
55	新施設建設後に、えんとつフェスティバルの実施場所が狭くなるので、地域住民への還元になることから、それを含めて場所について考えてもらいたい。	1	本施設は、明るく清潔なイメージを図りつつ、施設運営、施設見学、市民との交流・イベント、地域防災等の機能に応じた配置を計画します。	P 43 建築平面・断面計画
56	えんとつフェスティバルなどのイベントを実施する場所を考えて施設配置する。	8		
57	管理棟の位置について、工場棟の陰に隠れて日陰になってしまうのではないかと。市民に公開	7		

No.	ご意見・ご要望	回	対応	基本計画(素案) 該当ページ、項目
	する場として、ふさわしい場所かどうか検討をした方が良い。			
58	トイレの位置など、わかりやすい表示をしてほしい。	4	各部屋やトイレなどの表示は、市民に分かりやすいように計画します。	要求水準書で対応
59	小平市道第A-1号線の電柱について、東大和市駅付近の電柱により道幅が狭いため、通行しづらい。拡張、移設はできないか。	1	電線の移設については、関係機関との調整を継続して行います。	
60	ピットを定期的に清掃する。 (見学者用の窓、壁面など)	4	定期的な清掃を行うこととします。	要求水準書で対応
61	ピットの汚れについて、見学者から見えにくい工夫をする。	8	清潔で安全な見学ができるように配慮します。	要求水準書で対応

No.	ご意見・ご要望	回	対応	基本計画(素案) 該当ページ、項目
62	見学者対応についても、地域還元交流施設のような名称にしたほうが、プラントメーカーもそういう提案が必要だとわかる。	5	<p>プラントメーカーへは、見学者が施設を安全に楽しく、また、分かり易く見学できるように、模型展示や施設内部が見える工夫などを行うよう要求水準書に規定します。</p> <p>見学者動線は、本施設のほか、(仮称)不燃・粗大ごみ処理施設及び「こもれびの足湯」を含めて、一体的に見学できるようにし、可能な範囲で周辺緑地が見えるように計画します。</p> <p>玉川上水からの見学者ルートは、要求水準書にその検討を行うことを規定し、実施設計段階で検討します。</p> <p>焼却施設と不燃・粗大ごみ処理施設は、渡り廊下等により見学できるように計画します。</p> <p>申し込みを不要とする見学ルートについては、要求水準書にその提案を規定し、実施設計段階で検討します。</p>	P 43 建築平面・断面計画
63	見学コースから、玉川上水、野火止用水の緑が見えるように。	7		
64	不燃・粗大ごみ処理施設への見学ルートが地上を通る場合、ごみ収集車の動線と同じになり危険。	7		
65	玉川上水の散策路から焼却施設、不燃・粗大ごみ処理施設の見学をして、足湯につながるようにルートを作れないか。	7		
66	玉川上水を散歩している人が、散歩がてらに立ち寄れるような、誰もが入れれる施設。	8		
67	焼却施設と不燃・粗大ごみ処理施設を2階部分でつなげ、足湯まで通れる見学ルートを作る。(収集車両等の動線と交わらないようにする。)	8		
68	不燃・粗大ごみ処理施設と一体となった見学ルートの構築。	5		
69	こもれびの足湯も一体となった動線の確保。(敷地外に出ることなく、直接焼却施設、不燃・粗大施設、足湯が行き来できるように。)	5		
70	見学について、事前申し込みすることなく見学できるように。	8		
71	見学について、事前申し込みが必要なルートと、事前申し込み必要なく、外側だけ見学でき	8		

No.	ご意見・ご要望	回	対応	基本計画(素案) 該当ページ、項目
	るルートを区別して作る。			
72	見学ルートについて、プラントメーカーの提案が生きるように、固定案を作らない方が良い。	7		
73	武蔵野クリーンセンターのように、遠くからではわからないが、近づくと工場内が見えるようにできないか。	7	建物デザインについては要求水準書で提案を求めています。	要求水準書で対応
74	工場棟の壁面について、ガラス張り等外側から中が見えるような面積を増やす。	7		
75	太陽光などは、環境学習機能に必要な分以外は設置せずに、その分を別のコンテンツに費用をかけられないか。	5		
76	建物自身の性能向上による省エネルギーを図ることを明記する。	5	「東京都建築物環境配慮指針」に基づき、屋上及び壁面を活用した太陽光発電パネルの設置やトップライト等による自然光の取り入れなど、自然エネルギーを活用し熱負荷の低減に努めることとします。 また、本施設に設置する各機器は、可能な限り省電力型のものを採用して電力消費を最小限とし、併せて資源の適正利用など省資源・省エネルギーに配慮することとします。	P 43 建築平面・断面計画
77	消費電力の低減について、消費エネルギーの低減と名称を変え、断熱や日射遮蔽による冷暖房エネルギーの低減についても盛り込んでほしい。	6		
78	環境学習施設に清掃工場が付いているイメージ	4		
79	煙突に玉川上水の生態系、木などの絵をかく。外から見る学習機能。レーザー光線で書けるようにすれば震災時に遠くからでも見られる。LEDを配置して、LEDで絵をかく。	4	ごみ処理、環境問題に対する取組みについては、表4-13に示します。実施設計の段階で、地域住民の皆様には十分配慮したうえで、市民の皆様により良い印象を持っていただける学習機能を検討します。	P 47 環境啓発機能（プラザ機能）の検討
80	学習内容について、廃棄物だけにこだわらないで何回も来てもらえるしかけを作る。展示ス	4		

No.	ご意見・ご要望	回	対応	基本計画(素案) 該当ページ、項目
	ペースや食品廃棄物から作られるたい肥を使った植物育成の会など。来てもらったついでに学習してもらえるように。			
81	基本計画のなかで、金額を出す必要が無いのではないか。特に、プラントメーカーが見て、金額が吊り上げられるようなことにはならないか。現段階では参考見積もりであるため、概算程度で良いのではないか。	7	全体事業費について、概算金額を記載することとし、財源計画については概要を記載します。	P 57 財政計画
82	広報紙について、ボランティアに運営委託できないか。工場はもちろん、工場以外のこともテーマにして。	4	広報紙の制作方法につきましては、別途、今後の課題とさせていただきます。	
83	毎日でも住民が集まれるような場所になるように、余熱利用について具体的な話を盛り込む。	5	ご意見の内容を要求水準書に規定し、プラントメーカーの提案を求め、実施設計の段階で具体化を図ります。	要求水準書で対応
84	地域の人が普段から楽しめたり憩いの場とできるような提案をするようにプラントメーカーへ求める。地域の方に愛されるように。	5		
85	働く方にとっても良い施設であること。	5	動線やレイアウトなど、働く職員にとっても、使いやすさや安全面を考慮した設計とします。	